

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和2年度～令和4年度）
研究開発課題名	ウェアラブルデバイスを用いたハイスループット毒性解析システムの開発
代表機関名	国立医薬品食品衛生研究所
研究開発代表者名	大久保 佑亮

総合評価：優れている

【評価コメント】

覚醒下非拘束ラットでの連続解析可能なウェアラブルデバイス開発、および創薬の初期段階からの心血管・呼吸・中枢影響など致死性毒性情報の取得を目指した研究を進めた。各研究者が専門性を生かしながら連携し、興味深い多くの研究成果が得られており、心電計以外の項目は概ね達成されている。実験動物にとっても研究者にとっても好ましいものであり、アイデア、計画達成に向けた努力と成果、課題を明らかにした点を評価する。

今後、半導体不足等の影響によるホルター心電計の開発の未達部分は継続して検討し完成を目指すとともに、実用化に向け、外部機関との連携を含めて研究を発展させていただきたい。

以上